

ワークショップ 8

「進行大腸癌に対する外科的切除を中心とした治療戦略」

司会 五井 孝憲（福井大学第一外科）

上原 圭（日本医科大学付属病院消化器外科）

初回診断時に遠隔転移を伴う stage IV に対する治療方針は、転移状況により根治性が大きく異なるものの、外科的切除による介入は予後を大きく改善できる可能性がある。しかし外科的切除のみでは限界があり、薬物療法や放射線治療を織り交ぜた multimodal treatment が導入されている。

本ワークショップでは、stage IV 大腸癌に対する外科的切除ならびに multimodal treatment strategy について、施設での取り組みや臨床試験結果を報告していただきたい。